

議会だより つるい!

子どもセンター「こすもす」始動!



TOPICS

- 令和元年度の決算は? P2
- 9月定例会の中身は? P8
- 臨時会 P10
- 6議員が村政を問う! 一般質問 P12



鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

令和元年度決算実質収支は6358万円の黒字 普通建設事業費が 大きく増加！



決算の概要

令和元年度一般会計決算の特徴

- ① 前年度と比べ歳入で16億4009万円の増、歳出で16億3259万円の増となった主な要因は、畜産クラスター事業や子育て支援建設事業と村債（借入金）の増加によるもの。
- ② 自主財源は歳入全体の15.9%の9億9756万円。

令和元年度鶴居村一般会計、特別会計歳入歳出決算、財産の状況、基金運用状況について延べ12日間にわたり審査を実施した。審査に付された歳入歳出決算書・諸書類・基金運用状況報告書について

① 決算係数は正確であるか。
② 予算の執行は適正かつ効率的になされているか。
③ 資金は適正に管理され、効率的に運用されているか。
④ 財産の取得、管理、処分は適正に処理されているか。
などを担当職員から説明を聴取して実施した。

年明けから新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、一般会計・特別会計とも、



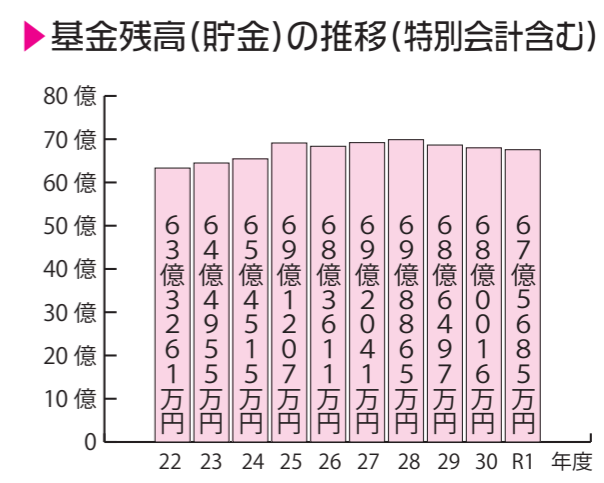
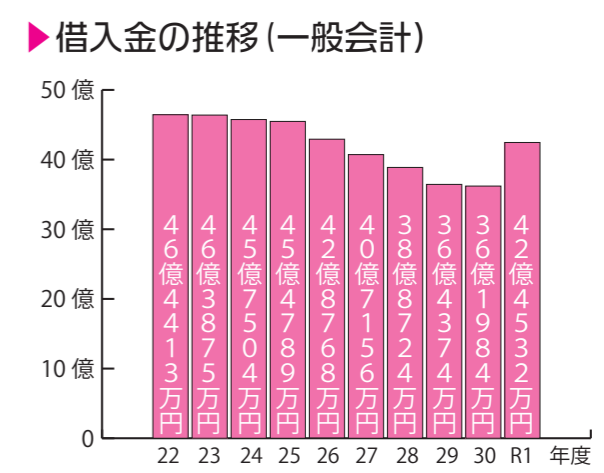
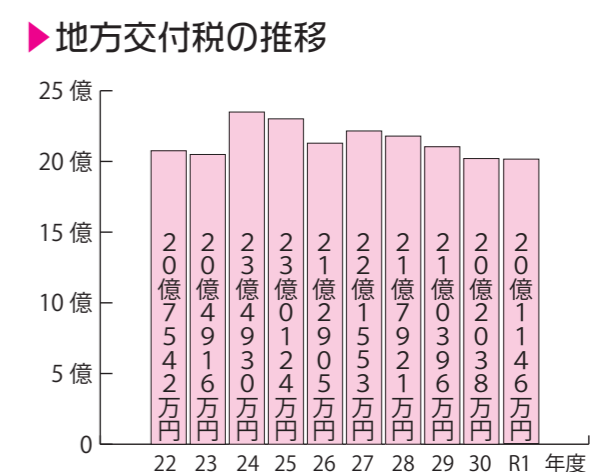
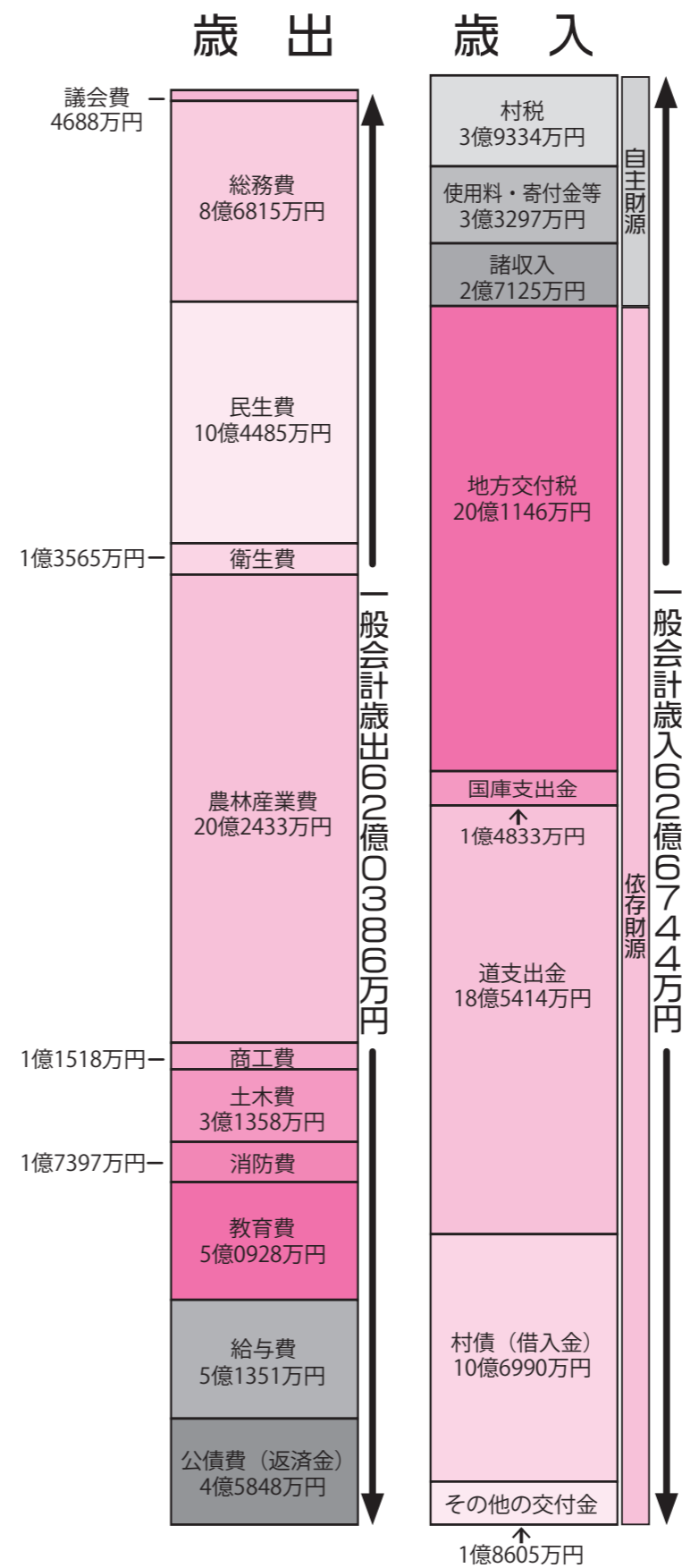
代表監査委員 灰塚 玲子 氏

監査意見

事務・事業は概ね効果的に執行され、健全財政を基本に産業の振興・福祉の向上、生活環境の整備、教育の充実、定住促進など、行政効果を確保し重点事業を推進したことは高く評価される。また、基金や公有財産の運用状況についても、適正に効果的な運用が図られている。

一般会計に占める自主財源の比率が減少した。今後も引き続き村税、国民健康保険税や税外収入の庁内一体となった徴収体制を強化し、積極的な滞納整理に取り組みなど、納税意識の啓蒙と有益で安全を重視した基金の運用により、貴重な自主財源の確保に努めていただきたい。

各種補助制度は効果の検証を行うなどして、現状に即した効果的・効率的な事業を執行し、今後も長期計画に基づいた行財政運営で健全財政を保持し、活力があり、村民が安心して暮らせる村づくりに取り組まれることを望みます。

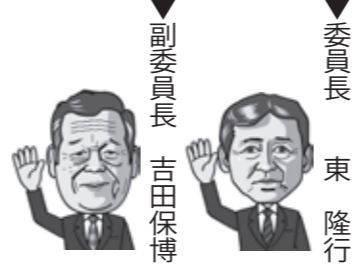


令和元年度各会計決算

会計別	歳入	前年度比	歳出	前年度比	差引余剰額	議決の内容
一般会計	62億6744万円	35.4%	62億0386万円	35.7%	6358万円	全員賛成
水道特別会計	5791万円	30.5%	5551万円	35.3%	240万円	全員賛成
農業集落排水特別会計	5683万円	▲1.2%	5567万円	▲0.8%	116万円	全員賛成
国民健康保険特別会計	3億5753万円	▲3.7%	3億2294万円	▲3.8%	3459万円	全員賛成
診療所特別会計	7561万円	1.0%	7561万円	1.0%	0	全員賛成
介護保険特別会計	2億6912万円	▲2.8%	2億4787万円	3.3%	2125万円	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	4189万円	9.2%	4115万円	8.4%	74万円	全員賛成
合計	71億2633万円	29.8%	70億0261万円	30.7%	1億2372万円	

令和元年度決算で議員が注目した事業は？ 決算委員会では7委員が57の質問をしました！

令和元年度一般会計および特別会計の各会計決算案は、松井広道議長と大津監査委員を除く7議員で構成される決算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行いました。事業内容や事業効率、効果などについて活発な質疑を行い、議案ごとに討論、採決を行った結果、全ての議案を「可決すべきもの」と決定しました。



▽エゾシカの農業被害は約8000万円

松井俊治委員
鳥獣被害のなかで特にエゾシカの牧草被害が深刻である。本村では毎年調査しているが、農家からの回答率が低いため調査方法を検討するとしていたが、今年の調査結果は、

産業振興課長
元年度は回答率の低い文書調査はやめて、聞き取り調査を行った。その結果8000万円ほどの鳥獣被害額となった。その9割がエゾシカによるもの。



大切な牧草がエゾシカに食べられてしまう

▽公営住宅にエアコン取付けは

松井俊治委員
近年、夏場はとて暑く、エアコンを設置する家が本村でも増えてきている。公営住宅などにエアコンを取り付けることはできるのか。

建設課長
取り付け可能である。エアコンを取り付けるには壁に穴を開ける必要があるため、改造届けの提出が必要となる。退居時には穴に蓋をしってもらう。

▽多面事業の状況は

松井俊治委員
多面的機能支払交付金は、畑に関する取付け道路の砂利敷きや明渠の掃除など、農家は色々助けられている。現在は要望が多く、断られている状況もあるようだ。

産業振興課長
この事業は昨年度で1期5年間の事業が終了し、今年度から新たな5年間の事業が始まっている。新しい制度では交付金単価や総額が減少している。

▽太陽光発電の規制

松井洋和委員
近年、太陽光パネルの設置が目立ってきている。釧路湿原国立公園のすぐそばにも設置されているが、景観を守るための働きかけは。

企画財政課長
景観条例などで規制を盛り込むことはできるが、あくまでも民間の土地なので法に抵触しないかぎり規制することができない。

▽鶴居小学校の時計

佐藤吉人委員
鶴小体育館の外壁の高いところに時計が設置されているが、東側の時計が止まっている。

教育課長
数年前に北側の時計が故障したが、高い位置にあるため高額な修繕料となった。これから検討する。

▽コミュニティ拠点 美化清掃活動交付金

及川満浩委員
各自治会などの美化活動に5万円を交付する事業だが、実績は。

住民生活課長
対象自治会連合会が11あるが、元年度は7団体から申請があり交付している。

▽出生数の推移は

松井洋和委員
ここ数年の出生数は、保健福祉課長補佐は、

24年度7人、25年度11人、26年度15人、27年度23人、28年度20人、29年度18人、30年度12人、令和元年度14人となっている。

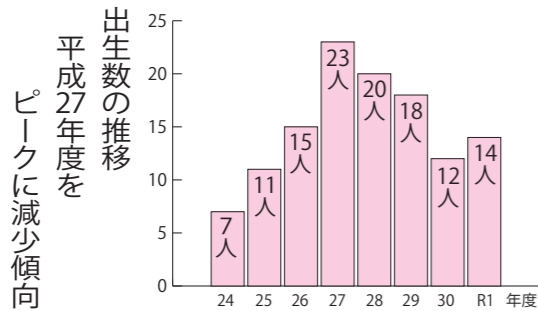
▽鶴居小学校2階の暑さ対策は

松井洋和委員
鶴小の2階が夏場はとても暑いようだが、どのような状況にあるのか。

教育課長
鶴小の2階には天窓があり、夏場は直射日光が入り込むため非常に暑くなるので、今年は天窓を遮光カーテンでふさぎ、扇風機を新たに導入して対策している。北海道の学校でエアコンを設置している学校は1%くらいしかない。



鶴居小学校の2階天窓からの直射日光を防ぐために遮光カーテンを設置



出生数の推移
平成27年度をピークに減少傾向

▽高齢者の公営住宅入居



佐藤吉人委員

公営住宅に入居するときに必要だった連帯保証人規定が廃止され、連帯保証人をつけることが困難な高齢者が入居しやすくなった。

建設課長
今年、高齢者などが連帯保証人をつけられず公営住宅に入居できないことを防ぐため、連帯保証人がいなくても入居できるようになったが、入居の際に緊急連絡先を記入してもらっている。
今後、緊急連絡先を複数求めることを検討する。

▽国勢調査をオンライン



及川満浩委員

統計調査員の確保に苦慮している自治体もあるようだが状況は。また、今年为国勢調査の年だがオンライン申請を勧めては。

企画財政課長
地域の協力を得ながら調査員は確保できている。
新型コロナウイルスの関係もあるので、オンライン申請の啓発を行う。

▽高齢者へのインフルエンザ予防接種



及川満浩委員

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、高齢者へのインフルエンザ予防接種を優先するなどの考えは。

保健福祉課長補佐
現在、インフルエンザ予防接種に優先順位をつける検討をしている。
65歳以上を優先する考えを持っているが、決まり次第すぐに対応する。



症状が似ている新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの「同時流行」に対する警戒感が高まっている。

▽夢の杜団地の2区画



佐藤吉人委員

希の杜団地が順調に販売されているが、夢の杜団地で販売中の2区画は草木が繁茂し販売看板が見えない状態にある。
草刈りなどの手入れが必要では。



夢の杜団地も2区画販売中

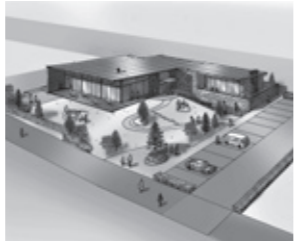
企画財政課長
希の杜団地の販売中の区画には草刈りなどの管理をしているので、夢の杜団地も草刈りなどの管理を行いたい。

▽地域交流施設の計画は



秋里広志委員

地域交流施設を建設するために鶴居西2丁目土地を購入したが、進捗状況は。



コンセプトデザイン

企画財政課長
コンセプトデザインをもとに関係団体や住民の意見を聞いたが、中には慎重意見もあった。
そのため、できるだけ多くの住民に使ってもらえるにはどうすべきか、運営方法も含め検討している。

▽村税・手数料の未収



吉田保博委員

本村は未収が少ない自治体であるが、未収を滞納整理機構に引き継いだり、最終的に不納欠損になるものもある。
未収がなくなるように努力を。

企画財政課長補佐
未収の主な要因は、所在不明者や現存しない法人、また、時効などにより不納欠損となっている。
しかし、そこに至るまでに様々な方策をとっている。引き続き努力していく。

▽幌呂郵便局で住民票などを発行する複合機を更新



吉田保博委員

住民生活課と幌呂郵便局に複合機を購入しているのは。

住民生活課長
幌呂郵便局では住民票などの各種証明が発行できるようにしており、その複合機を更新した。

▽コスモス畑



秋里広志委員

コスモスは鶴居村の村花となっている。茂雪裡コミセンのコスモス畑ではとてもきれいに咲いているが、下雪裡のコスモス畑の生育状況が良くないようだが。

産業振興課長補佐
ここ数年指摘を受けているので改善に努めているが、このような状況にある。
茂雪裡を参考に、来年に向けて改善したい。



村花コスモス

▽本気の移住相談会



吉田保博委員

東京で開催される「本気の移住相談会」に参加しているが、効果は。

企画財政課長
予約制の相談会となっており、来る人の意識が高い。
本村には10件の相談があり、その中の1人が本村に移住されている。



東京で開催された「本気の移住相談会」

定例会 主な内容

9月定例会 のあらまし



松井広道議長

第3回定例会は9月8日に開会し、10日に閉会しました。
村長からの提出議案は21件で、内訳は報告1件、認定7件、条例案件1件、計画案件2件、人事案件1件、補正予算6件、その他3件です。議員発議案は3件です。
すべての議案が原案通り可決されました。一般質問では、6議員が10項目の質問で村政を問いました。

▽人体用高精度サーモグラフィーカメラ



松井俊治議員

感染症予防のために体表面温度測定器（人体用高精度サーモグラフィーカメラ）を購入するが、目的と設置場所は、



このサーモグラフィーカメラの前に立つと自分のおでこのところに体温が表示されます。

100万円

▽地方路線バス事業者支援助成金

地方公共交通を維持するために、村内を運行するバス事業者を支援します。

保健福祉課長

70万円

大津泰則議員
今回の路線バス支援と、当初予算に計上していた路線バス補助金との違いは。

住民生活課長
今回は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている観光バス事業者への支援をするもので、当初予算に計上したのとは別のものです。

▽農業関係の感染症予防で防護服購入

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、農業関係備蓄用資材を購入します。

350万円

吉田保博議員
購入する防護服は各農家に配布するのか。

産業振興課長
防護服を250セット購入するが、村が保管し今後の不測の事態に備える。また、複合次亜塩素酸系消毒剤ビルコンを、農協を通じて酪農畜産業者全戸に配布する。

▽教育委員会委員の任命



高橋文雄さん（68歳）

任期満了により、高橋文雄さんの再任に同意しました。任期は4年間です。

▽財産の取得契約の締結

目的：小学校情報通信機器（タブレット）購入
方法：指名競争入札
金額：1672万0000円
相手：株式会社 ポータス

目的：中学校情報通信機器（タブレット）購入
方法：指名競争入札
金額：1226万5000円
相手：株式会社 ポータス

▽役場庁舎の機能改善構想

役場庁舎と総合センターを良好な状態で維持し、その機能を効果的に活用するために機能改善構想を策定します。

360万円

及川満浩議員
役場庁舎の増築も検討しているのか。

総務課長
まだ構想の策定段階である。現在の庁舎は築33年以上経過しており、今後必要とされる相談室やエレベーター、駐車場などの構想策定を委託する。

▽道路の支障木伐採

秋里広志議員
昨年に引き続き道路環境整備工事として支障木を伐採するが、今回はどの地域を整備するのか。

500万円

建設課長
当初予算と合わせて1000万円の予算で、主に鶴居市街と地域から要望のあった場所の道路支障木を伐採する。

▽家畜糞尿の臭気対策

佐藤吉人議員
風向きによって、家畜糞尿の臭気が市街地に流れてくることもある。匂いを抑える薬品もあるようだが。

産業振興課長
臭気については地域や観光客の一部からの声を聞いている。農家は最大の配慮をしており、村の大きな課題だと認識している。また、農協とも対策強化の思案をしている。

▽兵庫県市川町の鶴居中学校が統廃合

ふるさと創生中学生派遣事業として、毎年8月に本村の中学2年生を兵庫県市川町にある鶴居中学校に派遣し、同じ名前学校のつながりで交流を行っています。

松井洋和議員
兵庫県市川町の鶴居中学校が統廃合されるが、ふるさと創生中学生派遣事業の今後は、教育課長補佐

1億円を超える補正予算 議員が注目した事業は？

令和2年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	1億2091万9千円	51億7482万0千円	全員賛成により可決
水道特別会計	1930万2千円	7080万2千円	全員賛成により可決
集落排水事業特別会計	335万5千円	5945万5千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	653万1千円	3億9573万1千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	2418万5千円	2億6618万5千円	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	201万2千円	4611万2千円	全員賛成により可決

定例会
議案賛否

9月定例会
審議した議案と結果

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	東隆行	松井洋和	佐藤吉人	及川満浩	吉田保博	大津泰則	秋里広志	松井広道
令和元年度決算の認定											
一般会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正											
税条例の一部改正 10月1日以降に施行される税条例の改正	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
規約の変更											
北海道市町村総合事務組合規約の一部変更 事務組合を構成する団体の変更	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更 事務組合を構成する団体の変更	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道町村議会議員公務災害等組合規約の一部変更 事務組合を構成する団体の変更	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度補正予算											
一般会計（第6号） 主に新型コロナウイルス感染症対策や畜産クラスター事業などの増額計上	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業特別会計（第1号） 主に3月11日に発生した茂雪裡川水道管漏水事故の復旧に関する増額計上	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計（第1号） 主に下幌呂浄水場の修繕に関する増額計上	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計（第2号） 主に前年度繰越金の確定とマイナンバーカードに関するシステムの改修費の増額計上	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定と介護給付費負担金などの清算による増額計上	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定と制度改正に伴うシステムの改修による増額計上	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事											
教育委員の任命（高橋文雄氏）	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約の締結											
小学校情報通信機器購入 議決が必要な700万円以上の財産の取得（児童・教員用タブレット購入）	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中学校情報通信機器購入 議決が必要な700万円以上の財産の取得（生徒・教員用タブレット購入）	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告											
令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書（国に提出）											
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

第4回臨時会

7月21日に臨時会を開会しました。
契約3件の議案審議を行いました。
すべての議案が原案通り可決されました。

▽ 工事請負
契約の締結

契約工事名：地域福祉拠点施設建築主体工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：2億0174万円
契約の相手：株式会社 山口工務店

契約工事名：農畜産物加工施設「酪楽館」増改築
建築主体工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：6435万円
契約の相手：株式会社 佐々木建設

契約工事名：農畜産物加工施設「酪楽館」増改築
機械設備工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：6500万円
契約の相手：三建設備工業株式会社 釧路営業所

第5回臨時会

8月5日に臨時会を開会しました。
契約3件とコロナ対策関連の補正予算2件の議案審議を行いました。
すべての議案が原案通り可決されました。

▽ 工事請負
契約の締結

契約工事名：新総合体育館設建築主体工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：9億9880万円
契約の相手：村井・佐々木・坂野
特定建設工事共同企業体

契約工事名：新総合体育館機械設備工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：1億3266万円
契約の相手：太平洋・総合特定建設工事
共同企業体

契約工事名：新総合体育館電気設備工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：1億2760万円
契約の相手：北電・東興特定建設工事
共同企業体

第6回臨時会

10月15日に臨時会を開会しました。
契約1件の議案審議を行いました、原案通り可決されました。

▽ 財産の取得
契約の締結

契約の目的：デイサービスセンター車両購入
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：1042万0674円
契約の相手：釧路トヨタ自動車株式会社 釧路支店

意見交換しませんか？

議会では、広く村民と意見を交換する機会を設けています。
希望される方（団体やグループなど）は、議会事務局までお問い合わせ下さい。
議会事務局 0154-64-2511



6人の議員が10項目の質問

村政のことが聞きたい

松井 洋和 議員	P13
①ふるさと納税の充実を	
及川 満浩 議員	P14
①避難所マニュアルの改正は ②今後の図書館運営方針は ③テレワーク移住の推進を	
吉田 保博 議員	P15
①みんなで歩む協働のむらづくり	
佐藤 吉人 議員	P16
①鶴居村への移住・定住対策推進を ②分譲地販売要領の見直しを	
松井 俊治 議員	P17
①幌呂地域の活性化を	
大津 泰則 議員	P18
①新たなまちづくり ②新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の継続を	

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

ふるさと納税の充実を

村長 新たな返礼品の発掘で鶴居ファンを拡大する

松井 白糠町は昨年、全国4位のふるさと納税受入額となっていました。

受入額上位の自治体を見ると、海産物や肉、米などが人気となっており、本村でそれらを調達するには困難なものが多くあり、すぐに受入額が増える状況にはないのが現実だと認識しています。

しかし、2008年にスタートしたふるさと納税制度は、今や地方の重要な財源となっており、本村としても努力を重ね、毎年受入額を増やしていますが、更なるアクションも必要ではないかと考えています。

そこで、「ふるさと納税」の近隣自治体を含めた現状や本村の今後の対応について伺います。

村長 先日、総務省年度のふるさと納税実績が取りまとめられ、全国では約2334万件で総額約4875億円（前年対比95%）の納税額となっていました。

本村の2019年度実績は2102万円、前年より290万円ほど上回りましたが、地域資源の掘り起こしや地元産品の取り扱いなどに更なる取り組みが求められる結果であったと認識しています。

本村の2019年度実績は2102万円、前年より290万円ほど上回りましたが、地域資源の掘り起こしや地元産品の取り扱いなどに更なる取り組みが求められる結果であったと認識しています。本事業は行政だけでなく、地域活性化の面からも事業者の皆様の協力が必要不可欠です。



まつい ひろかず
松井洋和 議員



デザインをリニューアルしたつるいチーズ

このため、商工会などの関係団体と連携し、本村の特性を生かした魅力ある新たな返礼品の発掘をはじめ、ふるさと納税サイトの利用拡充、さらにはサイト上に掲載する返礼品の宣材写真の更新や寄附の使途を詳細に紹介するなどの取り組みを進めるとともに、ふるさと納税を通して鶴居ファンの拡大を図りながら、地域の振興や村の魅力づくりを強化していく考えです。

松井 鶴居村が過疎になる可能性があることを踏まえ、将来に向けて早急に対処していく必要があると考えます。

村長 過疎債を含め、将来を見据えて時間をかけないで、村としてしっかりとした取り組みをしていきたいと思っています。

表紙の写真



子どもセンターの給食

10月13日に、子どもセンター「こすもす」の様子を撮影に行ったときの1コマです。

開所後一月以上経ち、子どもたちも新しい環境に慣れたよううで元気いっぱい給食を食べていました。



おいかわみちひろ 及川満浩 議員

避難所マニュアルの改正は

村長 現行を基本に適切・柔軟に対応

及川

「北海道版避難所マニュアル」について、村の対応を伺います。
①村の「避難所マニュアル」の改正は。
②胆振東部地震の検証を踏まえた対応は。
③厳冬の避難所運営訓練の検証を踏まえた対応は。
④「感染症対策」の検証を踏まえた対応は。
⑤「福祉避難所」運営への対応は。

村長

①現行を基本とし、北海道版避難所マニュアルなどの内容を参考として適切かつ柔軟に対応します。

テレワーク移住の推進を

及川

新型コロナウイルス感染症対策として、首都圏を中心にテレワークの導入が進んでいます。そこで、課題もあると思いますが、テレワーク移住の推進への村の方針を伺います。

村長

本村は首都圏や道央地域を結ぶ交通条件が優位にあり、村内全域に高速通信網が網羅されています。今後、情報収集などに努め、テレワーク誘致の可能性を内部検討したいと考えています。

一般質問 及川満浩

今後の図書館運営方針は

及川

村民は図書館に、より発展的な運営を期待していると思われれます。特に郷土資料の研究など、文化の発信に中心的な役割が求められていると思っています。そこで、条例改正や利便性の向上などを含めた今後の運営方針を伺います。

教育長

出版物などを収集・整理・保存し、地域住民に知識と文化を提供する役割を果たし、図書館のもつ学校教育への支援や家庭教育の充実、司書の専門性を生かした図書館サービスの向上を図り、地域を支える情報拠点としての役割を果たしたいと考えています。



充実している鶴居村図書館

みんなで歩む協働のむらづくり

村長 地域課題や村の将来を意識した人材の確保育成に努める

吉田

6月末の鶴居村住民登録人口は総数2530人で、男1271人、女1259人、うち外国人が35人、世帯数は1205戸となっています。

地域住民が一体となって村づくりを考える「仮称」村づくり塾の創設を検討するとありますが、どのような想定をされているのか、村長の見解を伺います。

村長

転入者が本村での永住を目的とした転入か否かの判断や分析はできませんが、住民基本台帳の転入転出状況から判断すると

社会増は継続しており、人口の自然減を一定程度補う状況となっています。

また下幌呂「希の杜」の販売状況については、平成27年販売開始から、これまでに全26区画中

19区画を販売し、15世帯の方が住宅を建築し居住されており、村としては順調な販売で推移していると考えています。

今後下幌呂「希の杜」の移住を目的とした転入

者の確保や定住促進の取り組みは重要であると認識しています。「仮称」村づくり塾の考え方には、人口減少社会が進行するなか、地域の自主性や主体性を生かした様々な取り組みが地方自治体や地域社会に求められており、人材の確保や次代を担う世代の育成が重要です。

そこで「仮称」村づくり塾という研鑽の場を作り、村民に福祉や産業、教育などへの関心を高めてもらい、課題意識を持ちながら地域の将来を展望する機会を提供していきたいと考えています。

開始時期や開催方法の具体的な取り組みなどは、慎重な対応に努めながら年度内の実施に向けて準備したいと考えています。

私としては、職員や地元で活動する人をはじめ、外部のまつづくり実

践者やアドバイザーなどによる学習会の開催、さらに村づくりのテーマを題材にした情報の共有や意見交換などを通じて、地域課題や村の将来を意識した人材の確保育成に努めたいと考えています。

吉田

分譲地以外にも移住促進をと思いますが。また、近年村内に住宅の建設をされた状況について伺います。

村長

下幌呂分譲地をモデル地区として、全村に広がるように検討したい。H28年以降に輝くスマイル事業を利用した住宅の建設状況は、45歳以下は20戸、46歳以上が8戸、中古住宅2戸、計30戸となっています。（村内者11戸、釧路管内14戸、道内1戸、道外4戸）



よしだやすひろ 吉田保博 議員

下幌呂 希の杜 Nozominomori

好評販売中 第1期分譲地

お問合せ先 鶴居村役場 企画財政課 (0154-64-2112) (0154-64-2577)

販売好調な希の杜団地



さとうよしひと 佐藤吉人 議員

鶴居村への移住・定住推進を

村長 社会の変化に応じた移住・定住政策に取り組む

佐藤

全村に張り巡らされた光ファイバー通信網やWi-Fi機器が社会的インフラとして整備されています。また釧路空港まで25km分と、アクセスが管内でも良好な地域です。そこで、今後の村定住・移住政策をどう進めていくのか村長の見解を伺います。

村長

本村では、これまで分譲地や村有住宅などの整備と合わせ、携帯電話不感地域、域の解消や村道・上下水

道などの社会インフラの整備、また子育てや福祉施策の充実など、地域住民や移住者にとって住み良いむらづくりを進め、近隣自治体と比べて人口減少率が低い状態を維持しています。豊富な観光資源などを生かした交流人口・関係人口の拡大と合わせ、つるい未来創造プラン(第5次総合計画)に掲げる



移住・定住対策の今後の進め方は

むらづくりの考えのもと、鶴居村人口ビジョン・鶴居村総合戦略に掲げる移住体験事業やU・I・Jターン促進事業、北海道遺産である旧村営軌道の新たな活用などの地方創生に向けた取り組みを積極的に進め、社会の変化に応じた移住・定住政策に取り組みたいと考えています。

佐藤

本村では人口の減少が少なく抑えられており、その要因は分譲地販売によるものだと思っています。総合病院がある釧路市にも近く、村内にも民間の老健施設や入院病棟がある利便性の高さが評価されています。最近ではライフスタイルの多様化によって、結婚せず独身で生活する方が増えてきているようです。

本村の分譲地販売の当初のコンセプトは、子育てが家族が自然豊かな環境のなかで居住することだったと記憶しています。が、時代が変化しているのですから、夫婦や子どもがいる世帯だけではなく、独身者も分譲地の購入ができるようにしてもよいのではないかと思います。見解を伺います。

分譲地販売要領の見直しを

村長

村が分譲地を販売する目的は、子育てが自然豊かな環境のなかで生活することだけではなく、児童数を増やすことによる下幌呂小学校の維持や人口増により地域コミュニティを維持することで、本村の活性化を図ることも目的としています。

近年は人口が横ばいから微減なのに世帯数が増加しており、独身世帯が増えていくと推察され、ライフスタイルが変化していることは理解していますが、村が販売する分譲地については、村が目指す将来像(目的)に沿って進めてきているものであり、現在も順調に夫婦世帯、子育て世帯の購入が続いていることから、現時点では販売要綱を見直すことは考えていません。

幌呂地域の活性化を

村長 活性化につながる方向性を導き出したい

松井

幌呂地域の活性化については、連合会と話し合いが行われていますが、その中で旧幌呂保育園の跡地利用について伺います。連合会側からは「福祉施設にしようか」との意見が出ています。鶴居市街に新しく地域福祉拠点施設が建設されますが、やはり幌呂地域の住民は幌呂地区にこの思いが強いようです。

村長

幌呂保育園の跡地利用については、幌呂連合会が設置する地域活性化協議会と村との間で継続して協議を進めるなかで、単身高齢者向け住宅の整備に関する意見を伺っています。また、旧幌呂保育園の

については、地域住民の高齢化に伴い、村も安全安心な住環境の確保や立地を含めた利便性なども考慮して、住民ニーズに応じた高齢者専用の住宅を整備してきた経過にあります。村としては、地域からの意見を踏まえ、高齢者の住環境の実態などを把握し、住宅整備の可能性について調査検討したいと考えています。

松井

現在の調査検討をしてお聞かせください。また、保育園敷地にある立木を処分してほしいとの声もありますが。

村長

チーズ工房については、乳製品であることから関係機関との調整もあります。保育園敷地内の立木は処分します。

議会だよりは要約されています。臨場感ある本会議場へお越しください。議会の傍聴お待ちしております。次回定例会は12月9日(水)10時~役場2階(予定)



まついしゅんじ 松井俊治 議員



幌呂保育園の跡地利用はどうか

コロナ禍での運動会 鶴居小学校の体育参観日 コロナを克服した未来へバトンを



新たなまちづくり

村長 前向きな検討を行いたい



おつやすのり
大津泰則 議員

大津 緊急事態宣言が解除された6月から、本村を訪れる観光客が想像以上に多くなっています。改めて鶴居村の持つ魅力とは何なのか？私はこの現実を見たときに、この未曾有の危機的状況の中で、安らぎをこの鶴居村に求めてきたことを、鶴居村の強みとして新たなまちづくりを構築すべきと思いましたが、考えを伺います。そして訪れる観光客に一番大事なのは、自然の保護であり景観保全です。自然景観の保護はもとより、以前から言っ

いる道に沿いの太陽光発電施設や3階建て以上の建築物の規制など、鶴居村の美しさと魅力を守るために景観計画を作るべきと思いますが、考えを伺います。



美しい鶴居村を守るために

村長 これまでの観光の取り組みを推進しながら、新生活スタイルによる観光行動や管内・東北道地域などにも視点を置き、本村の優位性や地域の魅力を発信していくことが必要であると考えています。次に「景観計画」につ

いては、昨年と同様の質問をいただき、地域の景観形成の意義や必要性などの認識を述べました。全国では、4割の地方自治体が条例制定や計画の策定を進め、地域景観の保全などに努めており、本村も先人がこの地域を切り拓いた大切な大地の価値を、後世に伝えていくべき時を迎えていると感じています。今後、他自治体の情報や先進事例に学びながら、村として前向きな検討を行いたいと考えています。

大津 新型コロナウイルスの影響により、鶴居村の商工経済界に多大な経済損失が生じ、今後の企業経営に不安というより恐怖感を覚えたものでした。しかし、融資制度をはじめ国・道に先駆けた村の緊急経済対策交付金制度は、正しく「真水」として直接中小企業者に交付される「経済安定維持活動交付金」と「共同取組活動交付金」になっており、村内のすべての中小企業にとって支えとなっています。そこで、経営安定維持活動交付金が9月、共同取組活動交付金が12月で期限を迎えます。制度の継続が必要だと思いますので伺います。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の継続を

村長 「経営安定維持活動交付金」については、村内中小企業の本年2月決算以降の各月減収分を対象に一部補填を継続していましたが、各事業所の努力などによって、一定程度支援の効果はあったと認識しています。また、「共同取組活動交付金」については、共同で取り組む併当事業やふるさと支援便事業などに支援してきましたが、併当事業は、事業完了後も地域での自立した取り組みに期待を寄せています。現状では未だ十分な回復基調にあるとは言えない状況にあり、年度内の支援延長も含めて、今後の対応を早期に検討したいと考えています。

子どもセンター始動！ おいしい給食も始動！



間伐と間伐材の有効利用を促進して
健全な森づくりに貢献します。

- 発行責任者 松井広道
議長 松井広道
広報広聴常任委員会
委員長 松井洋和
副委員長 松井俊治
委員 吉田保博
委員 佐藤吉人

**年賀状などの
あいさつ状の禁止**
議員は、選挙区内の方に
答礼のための自筆によるも
のを除き、年賀状などのあ
いさつ状を出すことは禁止
されています。
ご理解をお願いいたします。

12月定例会は
12月9日開会予定
傍聴お待ちしております

